

平成29年度 安全講演会の開催

- 〔開催日〕 平成29年6月29日（木） 13:50～15:05
〔場 所〕 日本原子力研究開発機構原子力科学研究所 大講堂
〔講 師〕 大場 恭子 氏 （日本原子力学会倫理委員会委員長）
〔演 題〕 「安全を実現する文化 ―気付きと実行の必要性―」

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所における全国安全週間行事の一環として、6月29日、日本原子力学会倫理委員会委員長の大場恭子氏を講師に、「安全を実現する文化 ―気付きと実行の必要性―」と題する講演会が、原子力科学研究所大講堂において開催されました。

講演会は273名の方々が聴講され、東海ノア協定加盟の7事業所からも15名が参加されました。

講演会では、大場講師から、国際規格及び同氏の研究に基づき、原子力の安全文化があるとは、「原子力という技術の許容できないリスクの有無を常に自ら検討し、そのリスクの大きさにふさわしい注意が払われ、必要に応じた行動をとっていることが見える状態であること」であり、そのことに気付き、実行することの必要性が強調されました。

また、安全文化が醸成されている例としてJR東日本を取り上げ、同社では、レジリエントであるために必要な4つの能力（予見する、監視する、対処する、学習する）に基づき、「許容できないリスクの有無を常に自ら検討し、そのリスクの大きさにふさわしい注意が払われ、必要に応じた行動をとっている」ことが紹介されました。



講演会会場の様子